

App Bridge

【更新】Apache Log4j2 脆弱性 (CVE-2021-45046) の対応について

2021-12-16

平素より、当社 App Bridge をご利用いただき、誠に有難うございます。

Apache Log4j2 には、2021-12-14 に報告した脆弱性 (CVE-2021-44228) に加え、新たな脆弱性 (CVE-2021-45046) が確認されています。新たな脆弱性に対応するため、App Bridge の対応を以下のとおり変更致します。

1. 影響範囲 (変更なし)

App Bridge Ver. 1.18.0 以降の Linux 系 Agent に Log4j (2.13.3) を使用しており、今回の脆弱性に該当します。対象となる Agent は、以下のとおりです。

- ・ App Bridge Monitor Linux Agent Ver. 1.18.0 以降
- ・ App Bridge Kicker Linux Agent Ver. 1.18.0 以降

※ Ver. 1.18.0 未満では、Log4j 1 系バージョンを使用しており、脆弱性 (CVE-2021-44228) (CVE-2021-45046) の影響を受けません。

2. 暫定対策 (変更あり)

2021-12-14 に報告した暫定対策 (起動オプション追加) では新たな脆弱性 (CVE-2021-45046) に対応できません。このため暫定対策パッチ (JndiLookup.class をクラスパスから削除) を提供致します。パッチ提供は、2021 年 12 月 22 日を予定しています。

3. 本対策 (変更あり)

次バージョン以降の Linux Agent では、対策版 Log4j (2.16.0 以降) を使用します。次バージョンのリリースは 2022 年 1 月を予定しています。

4. 本件に関するお問合せ先

株式会社日立システムズ App Bridge サポート窓口

<mailto:info@app-bridge.com>

以上